

# ぐんぐんウィーク特別号



相手に分かりやすく伝えるためにはどのように発表すればよいか、何度もリハーサルをして考えました。

## 第2部

野外活動を通して「平和」について考えたこと 1

私は、みんなが協力することで平和がずっと続くと考えました。

そう考えたのは、野外活動でした焼き杉体験のときです。杉を火であぶるときがあり、それは友達や先生たちと協力しないとむずかしかったです。そこから平和じゃないと他の人と協力はできないと思ったので、これをずっと続けられれば今みたいな平和が続くのではないかと考えました。

## シリア内戦



- ・シリアでは、アサド大統領による独裁政権が40年にも渡って続いていた。
- ・政府に対し、国民の不満が溜まっており、2011年に起こった大衆による抗議運動「アラブの春」を受け、民主化運動への契機が高まっていく。
- ・そして、政権から虐げられていたスンニ派を中心とした抗議運動は、シリア全土に広がり、シーア派を中心としたアサド政権政府軍とスンニ派を主とした反政府軍との間で内戦へと発展した。

調べたことを写真や図を使ったり、文字の色なども工夫したりしながらスライドにまとめています。

## 調べようと思ったきっかけ

僕が調べようと思ったきっかけは、原爆＝核兵器と感じ、興味があったからです。なぜなら、いろいろなことで核兵器という言葉がニュースや友達の話などで興味をもったからです。最初は確かに怖かったけど戦争の恐ろしさを間知ってこれは、次の人たちにも伝えたいと感じ「昔の核兵器」を調べたいと思いました。



〈広島と長崎に原爆を投下したことは正当化できるか〉  
広島と長崎に原爆を投下したことは正当化できるか？



出典：2015 Pew Research Center survey Q15



被爆後



ドームのところの骨組みがむき出しになっています。